

# (06231773) ユニーグループ健康保険組合 様 2021年度版(2020年度実績分) 健康スコアリングレポート

\* 本レポートは、2018～2020年度のデータに基づいて作成しています。

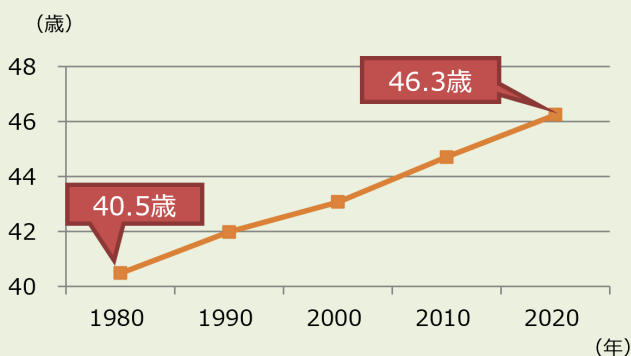
- 我が国は既に人口減少、超高齢化社会に突入し、深刻化する人手不足に加え、従業員の平均年齢の上昇による健康リスクの増大、生産性低下といった構造的課題に直面しています。
- 従業員がいつまでも元気で働き続けられる環境づくり、予防・健康づくりなくして、企業における持続的成長の実現は困難です。
- そのためには、健保組合と事業主（企業）が連携し、一体となって予防・健康づくりの取組を進める必要があります。
- 本レポートでは、事業主と健保組合のコミュニケーションの一助となるよう、予防・健康づくりの取組状況や健康状況等を可視化しています。経営者においては、企業の財産である従業員等の健康を守るために、健保組合と連携した従業員等の予防・健康づくりの取組のさらなる推進にご活用ください。なお、健康状況等に関する詳細情報は健保組合にお問い合わせください。

## 健保組合の保健事業が健康課題の解決策に！



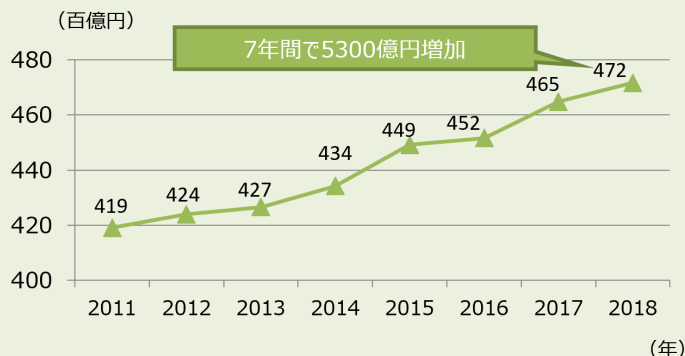
少子高齢化の進展や定年延長といった社会環境の変化に伴い、労働者の平均年齢の上昇に加えて、健保組合における医療費も増加を続けています。こうした中で、従業員等に対する予防・健康づくりの取組をより一層進めるために、事業主と健保組合による協働が求められています。

### ■ 就業者の平均年齢の推移



※総務省統計局「労働力調査」に基づく推計（5歳階級の中央の年齢に就業者数を乗じた値を積み上げ、全就業者数で除す方法で算出）。

### ■ 医療費の推移



※厚生労働省「医療保険に関する基礎資料～平成30年度の医療費等の状況～」に基づき作成。医療費は全健保組合の総額。

#### 【本レポートで使用する用語の定義】

「組合」及び「健保組合」：健康保険組合 / 「全組合」：全健康保険組合 / 「医療費」：年間医療費 / 「特定健診」：特定健康診査 / 「業態」：健康保険組合における業態（29分類）

貴組合の業態は以下で表示


飲食料品以外の小売業

# 貴健保組合の予防・健康づくりの取組状況と健康状況の概要

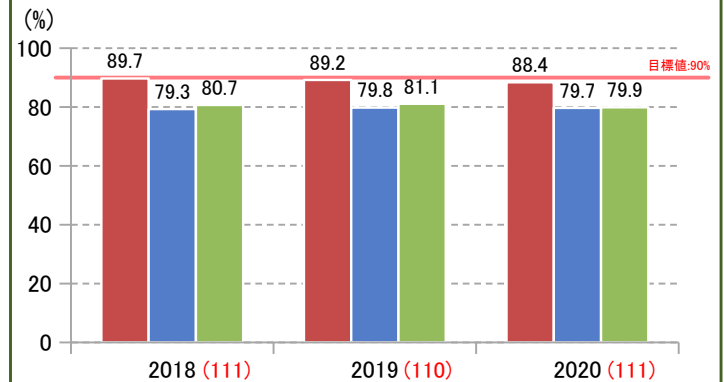
## 【貴組合の特定健診・特定保健指導の実施状況】

**特定健診・特定保健指導** 


単一	組合順位	240位 / 1,126組合
全組合順位		279位 / 1,379組合

**特定健診の実施率** 

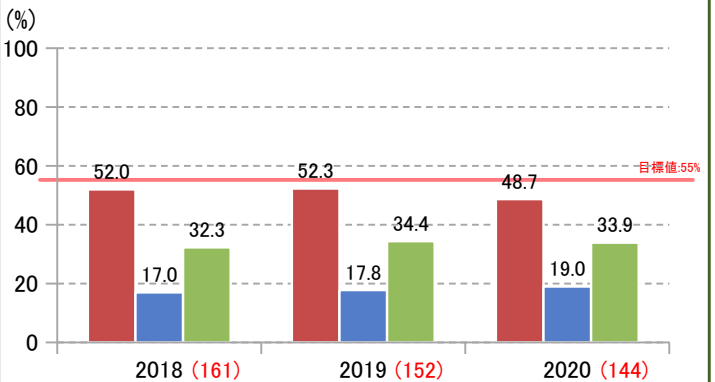
1ランクUPまで(\*1) 最上位です



特定健診の実施率	2018	2019	2020
貴組合	89.7%	89.2%	88.4%
	126位 / 1,104組合	190位 / 1,114組合	171位 / 1,126組合
業態平均	79.3%	79.8%	79.7%
単一組合平均	80.7%	81.1%	79.9%

**特定保健指導の実施率** 

1ランクUPまで(\*1) あと93人




特定保健指導の実施率	2018	2019	2020
貴組合	52.0%	52.3%	48.7%
	215位 / 1,104組合	219位 / 1,113組合	263位 / 1,126組合
業態平均	17.0%	17.8%	19.0%
単一組合平均	32.3%	34.4%	33.9%

※ 目標値は、第3期（2018～2023年度）特定健康診査等実施計画期間における保険者種別目標。  
 ※ 順位は、保険者種別（単一・総合）目標の達成率の高い順にランキング。  
 ※ ( )内の数値は、単一組合平均を100とした際の貴組合の相対値。

■ 貴組合 ■ 業態平均 ■ 単一組合平均

(\*1) "ランクUP"は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安（実施人数）を記載

## 【貴組合の健康状況】生活習慣病リスク保有者の割合

**健康状況** 

\*数値が高いほど、良好な状態 [全組合平均: 100]

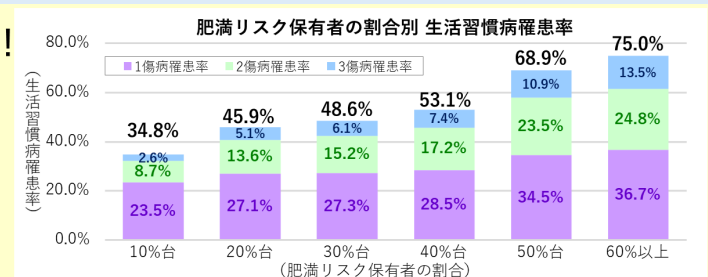
● 貴組合 ● 業態平均 ● 全組合平均

リスク	良好	← 中央値と同程度	→ 不良
肥満リスク			
血圧リスク			
肝機能リスク			
脂質リスク			
血糖リスク			

※ 2020年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

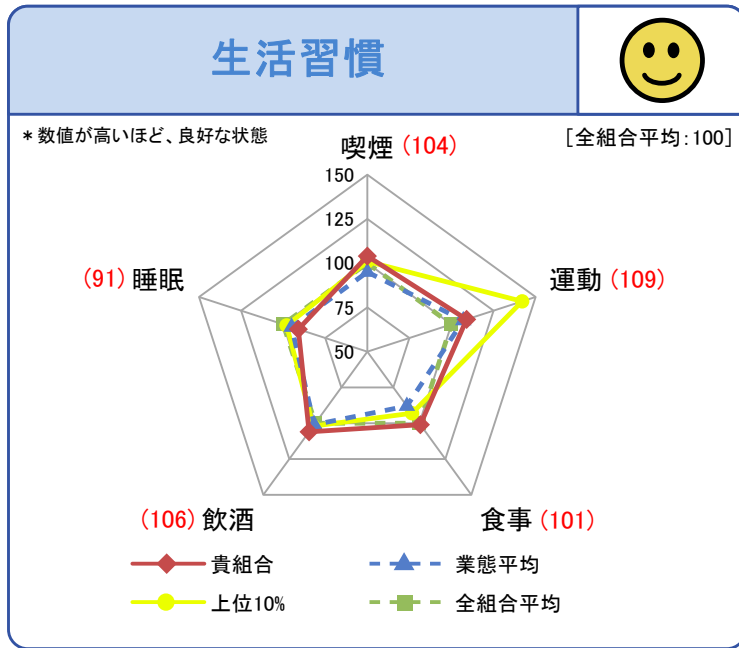
## 【参考】肥満リスクを下げ、生活習慣病を予防しましょう！

代表的な生活習慣病といわれる高血圧症・脂質異常症・糖尿病について、電子レセプトから罹患率を推計したところ、肥満リスク保有者の割合が高い組合ほど、生活習慣病の罹患率が高い傾向がみられます。  
 肥満リスクを下げ、生活習慣病を予防しましょう。



# 貴健保組合の生活習慣

## 【貴組合の生活習慣】適正な生活習慣を有する者の割合



リスク	良好 ←	中央値と 同程度	→ 不良	ランクUPまで (*1)
喫煙習慣 リスク				あと 375人
運動習慣 リスク				あと 38人
食事習慣 リスク				あと 372人
飲酒習慣 リスク				最上位です
睡眠習慣 リスク				あと 240人

※ 2020年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。  
 ※ 生活習慣データについては、一部任意項目であるため、保険者が保有しているデータのみで構成。  
 ※ 上位10%は業態ごとの「総合スコア」上位10%の平均値を表す。ただし、業態内の組合数が20以下の場合、全組合の「総合スコア」上位10%の平均値を表示。  
 (\*1) 「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(リスク対象者を減らす人数)を記載

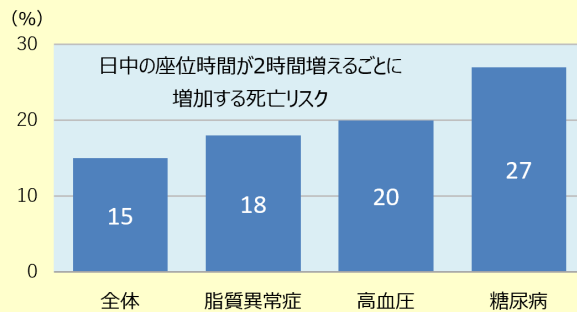
健康状況の経年変化	2018	2019	2020	
肥満	貴組合	133	130	130
	業態平均	105	105	106
血圧	貴組合	72	74	73
	業態平均	93	92	93
肝機能	貴組合	161	156	157
	業態平均	109	110	111
脂質	貴組合	100	100	101
	業態平均	108	107	111
血糖	貴組合	86	99	78
	業態平均	100	102	100

生活習慣の経年変化	2018	2019	2020	
喫煙	貴組合	105	105	104
	業態平均	95	95	95
	上位10%	103	102	101
運動	貴組合	107	106	109
	業態平均	103	103	107
	上位10%	139	138	142
食事	貴組合	103	103	101
	業態平均	88	88	88
	上位10%	92	94	93
飲酒	貴組合	107	107	106
	業態平均	101	102	101
	上位10%	104	104	102
睡眠	貴組合	96	95	91
	業態平均	96	95	95
	上位10%	99	98	98

### 【参考】座りすぎは死亡リスクが高まる！

日中の座位時間が2時間増えるごとに死亡リスクが15%高まると言われています。糖尿病の人の場合は27%も高まると言われています。新型コロナウイルス感染拡大によりテレワークとなっている場合でも、無理せず少しずつ体を動かす機会を増やしていきましょう。

出典：京都府立医科大学 Effect of Underlying Cardiometabolic Diseases on the Association Between Sedentary Time and All-Cause Mortality in a Large Japanese Population: A Cohort Analysis Based on the J-MICC Study, スポーツ庁「Withコロナ時代に運動不足による健康二次被害を予防するために」



← 良好 ← 中央値と同程度 → 不良

全健保組合平均を100とした際の各組合の相対値を高い順に5等分し、「良好 」から「不良 」の5段階で表記しています。

(注) 【本レポートにおけるデータ対象】

・医療費：全加入者 / 特定健診(健康状況・生活習慣)：40歳～74歳。

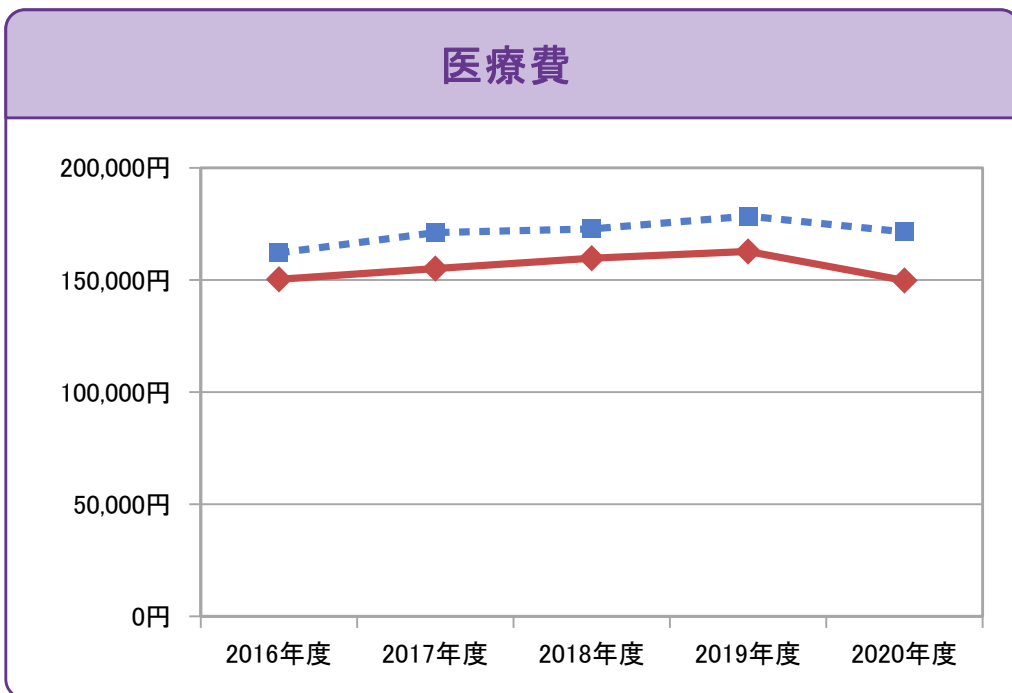
・データが存在しない場合、非表示。計算不能の場合「-」を表示。

健康状況・生活習慣・医療費は、対象となる加入数50名未満の場合「×」を表示。

・合併のあった組合については、合併前の各組合のデータを合算して表示。

# 貴健保組合の医療費概要

## 【貴組合の医療費の状況】1人あたり医療費と性・年齢補正後標準医療費の推移



参考: 医療費総額(2020年度)

貴組合
3,413百万円

◆ 1人あたり医療費

性・年齢補正をしていない貴組合の総医療費を貴組合の加入者数で除した医療費。

■ 性・年齢補正後標準医療費

全組合平均の性・年齢階級別1人あたり医療費を、貴組合の性・年齢階級別加入者数に当てはめて算出した1人あたり医療費。

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
1人あたり医療費	150,310円	155,090円	159,708円	162,734円	149,787円
性・年齢補正後標準医療費	162,085円	171,147円	172,769円	178,478円	171,449円

### 【貴組合の1人あたり医療費(2020年度)】

貴組合	性・年齢補正後標準医療費	性・年齢補正後組合差指数
149,787円	171,449円	0.87

参考: 貴組合の男女別・年代別1人あたり医療費(2020年度)

	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
<b>貴組合</b>	<b>153,002円</b>	<b>148,327円</b>	<b>78,036円</b>	<b>119,596円</b>	<b>134,320円</b>	<b>184,290円</b>	<b>214,282円</b>
業態平均	138,723円	143,682円	77,034円	103,991円	134,147円	203,811円	297,924円
全組合平均	145,229円	150,444円	81,456円	107,746円	136,606円	208,104円	319,840円

※性・年齢補正後組合差指数とは、医療費の組合差を表す指標として、1人あたり医療費について、加入者の性・年齢構成の相違分を補正し、全組合平均を1として指数化したもの。指数が1より高いほど、全組合平均と比較して性・年齢補正後の医療費が高い傾向であることを示す。具体的な算出方法は、参考資料巻末「各指標の算出方法」参照。

健康スコアリングレポート【レポート本紙】

2021年度版

厚生労働省 日本健康会議 経済産業省